

平成 28 年 8 月 12 日

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会 会員各位

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会
部会長 飯野 勝彦

第 60 回 機械システム部会 例会開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿本部機械システム部会主催の第 60 回例会を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回は、近年急速に普及が進み、今後は各種調査や災害時の情報収集等、幅広い用途が期待されているドローンの研究開発の最新の動向に関するご講演と、震災以降に原子力発電所で実際に実施されたシステム及び設備の具体的な改善策、また、今なお重大な課題となっている核燃料廃棄物問題の解決策に関するご講演の 2 件を予定しております。

また、講演会に引き続いて懇親会も行いますので、皆様のご参加を併せてお願いいたします。

記

1. 日時：平成 28 年 9 月 10 日（土）

13:00 受付開始、 13:30～17:00 講演会、 17:15～19:15 懇親会

2. 会場：

講演会 ～ 施設名 : 大阪科学技術センター 4 階 405 号室
所在地 : 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1 丁目 8 番 4 号
電話 : 06-6443-5316
URL : <http://www.ostec.or.jp/>
アクセス : 大阪市営地下鉄 御堂筋線・四つ橋線・中央線 本町駅
2 番出口より西へ徒歩 7 分 または 28 番出口より北へ徒歩 3 分

懇親会 ～ 店名 : アリスロード
所在地 : 〒541-0048 大阪市中央区瓦町 4 丁目 5-9 井門瓦町ビル B1
電話 : 06-6202-2299

3. プログラム

13:00～ 受付
13:30～13:35 機械システム部会長よりご挨拶
13:35～14:45 講演①「ティルトロータ型ドローンの研究開発」
浦久保 孝光 博士（工学） 神戸大学大学院システム情報学研究科助教
14:45～15:00 質疑応答
15:00～15:15 休憩
15:15～16:25 講演②「東日本震災後の原子力発電所の設備改善と核燃料廃棄物処理について」
吉田 晋侑 技術士（機械部門）
16:25～16:40 質疑応答
16:40～16:55 アンケート記入・回収、事務連絡（次回以後の例会案内等）、後片付け、撤収
17:00 頃 集合写真撮影（会場前）→ 懇親会場へ移動
17:15～ 懇親会

4. 講演紹介

講演①

講演タイトル： 「ティルトロータ型ドローンの研究開発」
講師： 浦久保 孝光 博士（工学） 神戸大学大学院システム情報学研究科助教

講師略歴：

平成 13 年 3 月 京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻博士後期課程研究指導認定退学
平成 13 年 4 月 神戸大学工学部情報知能工学科助手
平成 22 年 4 月 改組により神戸大学大学院システム情報学研究科システム科学専攻助教

この間 2007 年 10 月～2009 年 3 月 Carnegie Mellon University 客員研究員
非線形制御理論や球体ロボット、飛行ロボットなどの移動ロボットの研究に従事

講演概要：

2015 年はドローン元年と呼ばれるほどドローンへの注目が集まった。現在急速に普及しているマルチコプタ型のドローンは、垂直離着陸による運用の容易さを持つが、飛行時間や飛行速度が限られており、その利用エリアが限定される。これに対して、次世代ドローンとして、回転翼機モードと固定翼機モードを切替可能な VTOL (Vertical Take-Off and Landing) 型ドローンの研究開発が世界中で進んでいる。この VTOL 型ドローンの特徴、研究開発動向、課題などを概説するとともに、講演者らが開発する機体について紹介する。

講演②

講演タイトル： 「東日本震災後の原子力発電所の設備改善と核燃料廃棄物処理について」
講師： 吉田 晋侑 技術士（機械部門）

講師略歴：

平成 23 年 3 月 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻修士課程 修了
平成 23 年 4 月 三菱重工業（株）入社 神戸造船所 原子力保全技術部 配管設計課配属。
国内原子力発電所向け配管工事の計画、設計に従事。
平成 28 年 4 月 三菱重工業（株） 神戸造船所 プラント設計部 配管計画設計課配属。
国内原子力発電所向け高経年劣化評価（PLM）の配管解析業務に従事。
（現在に至る）

講演概要：

東日本震災を経験し、原子力発電事業は大きく変革されることになりました。

東日本震災を受け新たに施行された新規制基準を満足するため、日本各地の原子力発電所で施されてきた数々の安全対策。その結果については、企業や国により「安全性が認められた」とされてきていますが、それを疑問視する方もおられるのではないのでしょうか。

第 1 部では、東日本震災後、国内の原子力発電所において実際にどのようなシステムや設備の改善が行われたのか、現地で実設計を行った身としてお伝えしたいと思います。

また、第 2 部では核燃料廃棄物の最終処理について触れたいと思います。

原子力発電を行う限り決して逃れることのできない核燃料廃棄物問題。その解決策として太陽熱を利用した焼却処理方法を提案します。未だ具体的な活路の見えない草案に過ぎませんが、一人の技術者の夢物語と思って聴いて頂ければと思います。

5. 参加費

講演会： 日本技術士会会員ならびに準会員 1,000 円、非会員 2,000 円

なお、合格者祝賀会にて配布のパスポート持参の方は、無料にて聴講いただけます。

懇親会： 4,000 円

6. 参加申し込み方法

1) 日本技術士会近畿本部機械システム部会のWEBサイトにアクセスし、9月の「例会参加申込」画面に所定の項目を記入した後、「確認」を押して送信してください。

2) WEB環境の整わない方は、下記メールアドレスからの参加の申し込みも可能です。「会員（技術士、部門）」「準会員（技術士補、部門）」又は「非会員」を明記の上、「講演会」および「懇親会」への参加・不参加をご連絡下さい。

info @mechasys.ipej-knk.jp

（迷惑メール防止のため@の前に半角スペースが入っています。上記アドレスにメールをお送りの際は、半角スペースを削除して下さい。）

講演会、懇親会の両方ともに不参加の場合は、ご連絡は不要です。

懇親会への参加申込切は、9月7日（水）といたします。また、参加を申し込まれた方がキャンセルされる場合のキャンセル料は、次の通りといたします。

- ・ 8日（木）17時までに申し出られた場合・・・ 無料
- ・ 8日（木）17時以後、9日（金）17時までに申し出られた場合・・・ 500円
- ・ 9日（金）17時以後に申し出られた場合・・・ 全額（4,000円）
- ・ 無断欠席の場合・・・ 全額（4,000円）

以上